

今月号の

締め一杯

白河は全国的にも知られるラーメン処で、市内には100軒を超す店が点在しています。ラーメンへのこだわりを持ち、おいしさを追求する店主たちの思いを紹介します。

第12回

来々軒



住所：白坂大倉矢見218-1
営業時間：11:00 ~ 19:30
定休日：水曜日（祝日の場合は営業）

昭和48年、白河旭高の近く、桜町で創業した来々軒。その後、現在の場所に店舗を移転しました。店主は鈴木文男さん（64歳）。妻のえみ子さんと息子の功さんと一緒にお店を切り盛りしています。小さい頃から料理が好きだった文男さんは、学校を卒業してすぐに、東京の中華料理店で8年間修業してお店を構えました。

「日頃から新しいメニューを考えている」と話す文男さん。メニューには、15種類以上の餛飩かけラーメンがあります。中でも一番人気のおすすりは「肉そば」。豚と鶏ガラから作る醤油スープに、豚肉、白菜、小松菜、木耳が入った餛飩のり、自家製の手打ち麺がからみです。手間をかけて仕込んだ餛飩かけスープは、辛みと甘みがあり、奥深さと、くせになるうまみを感じます。

「将来は宴席料理も提供したい」と、ラーメン以外にも定食や中華料理など、豊富なメニューが並びます。「遠くから何度も来てくれるお客様がいる。これからも低価格でおいしいものをお腹いっぱい食べてもらいたい」と店主の文男さんは話してくれました。

人物Report

~注目のあの人を紹介~

あおき せいな さん
青木 聖菜 さん

中央中特設声楽部は、昨年9月に山形県で行われた「第68回全日本合唱コンクール東北支部大会」で金賞を受賞しました。そのメンバーの1人で、4月から合唱の名門校である安積黎明高校に進学する青木聖菜さん。常設の器楽部で部長を務め、さらに特設声楽部でもリーダーとして2・3年生からなるメンバーをまとめました。「歌で自分の体が音楽の一部になり、メンバーとの一体感を感じる瞬間が一番楽しい。将来は音楽教師として県内で働き、教えてもらった音楽の楽しさや知識を広めたい」と話し、素敵な歌声を聞かせてくれました。



《白河市ホームページ》



最新の情報をチェック

《マチイロ (旧i広報紙)》



アプリで情報チェック

《白河市公式ページ》



旬な話題をチェック

「広報白河」は、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。